地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和８年度　第６号
令和８年 11 月 25 日発行
＜発行・編集＞
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
（上越市立直江津東中学校内）
TEL： 025-543-2729
FAX ：025-543-4150
E-mail：higashi-cs@jorne.or.jp

NIE研究発表会・学校間授業研究交流会

直東学園では、小中学校９年間を見通した一貫した学びを念頭に置き、学力的な課題や授業改善の方向性を共有し、確かな学力を育成することを目指しています。具体的な取組で一番大事にしているのは授業力の向上です。今年度は、保倉小学校のＮＩＥ研究発表会に中学校区の教員が参加します。ＮＩＥとは新聞を活用した教育活動のことです。

保倉小学校は、研究主題「共に考え動き出す子」を目指して研究を積み重ねてきました。学習課題に対し、１人では難しくても、仲間と共に考えることによって課題が解決したり、新しいアイディアを実現したりする経験から達成感を味合わせるものです。それが児童の主体性「やってみよう」「こうしてみたい」を伸ばします。ＮＩＥの活用は、「共に考え動き出す」ための前提となる、自分の考えをもつための語彙力を高めようということから取組を始めました。１年以上の実践を積み重ねるうちに、「ＮＩＥを活用することで教師の授業の構想が明確になり、話合い等の言語活動が充実してくる」ということが分かってきました。研究発表会では、新潟県ＮＩＥアドバイザーと市教育委員会指導主事よりご指導をいただきながら、授業改善と言語活動の工夫について考えを深めます。


ＮＩＥコーナー


ＮＩＥタイム

・期日　令和８年 11 月 20 日（金）
・会場　保倉小学校
・内容　・全体会 13：35～13：55
・研究授業参観 14：05～14：50
２年生活科「えがおいっぱい　おもちゃランド」
６年総合的な学習「『食』Ｘほくら」ひまわり」ファームで収穫した米、どうする？」
・協議会 15：05～16：05

４月に全国の小学６年生、中学３年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果では、平日におけるスマートフォンやタブレットでのＳＮＳ・動画視聴時間が長い児童生徒ほど、各教科の平均正答率が低いことが分かりました。当中学校区でもＳＮＳ・動画視聴時間が長いことが課題になっています。

ＳＮＳ・動画視聴時間が長いとどんな弊害があるのかというと、①家庭学習時間が減少します。②睡眠時間が減ります。授業への集中力が低下します。③記憶の定着が減退します。ＳＮＳ・動画視聴は気分転換やリフレッシュにはいいですが、長いといいことがありません。時間を決めることが上手に付き合うためのポイントです。

北諏訪小学校の取組

今年度の北諏訪小の「学び」の重点目標は「自分の考えを豊かに表現する子」です。昨年度の校内研究の結果、明らかになった課題から重点目標を設定しました。そのための授業づくりは必須で、研究主題の中に「考えたくなる・表現したくなる授業づくり」を盛り込みました。日々の授業では、学びに向かう前向きな学級風土の醸成を目指しています。

年度当初の職員研修で、子どもが自分の考えを豊かに表現するための具体的な姿について、校内研修で話し合いました。



また、昼休みと５限の間のモジュール時間での活動で、子ども自身が自分の考えを伝えたり、表現したりしたくなる場を設定しています。そして、定期的に共通のテーマについて語り合うという実践をしています。「書くタイム」「読むタイム」「トークタイム」という学びタイムを年間２４回実施しています。

「書くタイム」では、順番を考えた文、理由を説明する文、要約して書くなどテーマや内容を設定し、学年に応じて取り組んでいます。

「読むタイム」では、初見の文章を読み、自分なりの理由や根拠をもとに話合います。

読解力や表現力の向上につながることを期待しています。



保倉小学校の取組

よりよく生きていくための語彙の獲得

困った時に「助けてください」とヘルプできることは、生きていく上での大きな力となります。ヘルプを求めるためには、まずその言葉を知っていて（知識・理解）、それを実際の場面で使えること（思考・判断・表現）が重要です。保倉小学校の子どもたちは、NIE（教育に新聞）の学習を通して、言葉とたくさん触れ合っています。言葉を探し、言葉について考え、言葉で表現する学習を続けています。新聞は、児童の学習への興味関心を高めることにも役立っています。

１年生　カタカナを見つけよう

カタカナの学習について興味関心を高めるために、新聞記事の中からカタカナで書かれた言葉を見つけます。子どもたちは、この学習を通して、身の回りにはカタカナで書かれた言葉がたくさんあることを知り、カタカナ言葉を分類する活動をとおしてカタカナへの興味関心を高めました。



全　校　ＮＩＥタイム

朝活動の時間に NIE タイムを行っています。NIE タイムでは、新聞記事を紹介したり、NIE コーナーに掲げてある新聞記事からクイズを出したりしています。楽しく無理なく新聞を活用しながら言葉と触れ合う貴重な時間になっています。



新聞記事を見せあう３年生

有田小学校の取組

本校では今年度、「自分もみんなも大切に～一人一人のかがやきづくり～」を主題に掲げ、日々の授業や活動に取り組んでいます。子どもたち一人一人のよさや可能性を大切にし、自分らしくかがやきながら、互いに認め合い、共に成長できる姿を目指しています。

○ 子ども主体の授業づくり・授業参観

今年度は、子ども主体の授業づくりを目指し、教師自身の子どもを見る目や考え方を見直しながら、授業改善に取り組んでいます。

授業公開では、子どもたちのよい部分に目を向け、一人一人の姿を丁寧に見ることを大切にしています。そうすることで、普段は気付かなかった新たな一面や、一人一人が秘めている力を発見することができました。

○ みんなのしゃべり場

校内研修として「みんなのしゃべり場」を設定しています。全職員が日々の実践を共有し、それぞれの工夫や悩みを伝え合いながら、よりよい教師集団を目指しています。また、目指す子どもたちの姿を全職員で確認し、同じゴールに向かって進んでいくことを大切にしています。



○ 有田コンパス学習への挑戦

子どもたちが自分で学びを進める力を育むために、「有田コンパス学習」に挑戦しています。いわゆる自由進度学習で、自分の学習状況に応じて学び方や進め方を考えながら学習します。目指すのは、自分で考え、判断し、主体的に学びを進める「自走する集団」です。その実現に向けて、現在もそれぞれの教師が工夫を重ね、授業改善に取り組んでいます。

春日新田小学校の取組

春日新田小学校では、今年度は「ガツガツ学ぶ子が育つ学校　～安心・安全な学級づくりを基盤として～」を研究主題に据え、次の三本柱で取組を進めています。

◎　授業づくりで授業力 UP

ガツガツ学ぶ子が育つ学校を目指し、教員自身もガツガツ学び、ガツガツ授業づくりを行っています。今年度は、各学年部１名程度が授業公開をし、その後、教員間の対話を重視した協議会を行うことで、全教員の授業力ＵＰに取り組んでいます。



◎　対話して教師力 UP

それぞれが日常的に実践している授業や営みについて、ペアやチームで教員同士が対話する機会を設けています。ざっくばらんに対話を行うことで、子ども観や指導観をブラッシュアップしています。

◎　学級づくりで学級力 UP

子どもが安心して学び、生活できる基盤を整え、個の成長と集団の質を高めるために学級づくりにも力を入れています。子ども同士の関係性全ての基盤となる安心・安全な学級を全校一体で目指します。

安心・安全な学級をつくるためには、教室内の秩序を守り、落ち着いた雰囲気で授業に臨むことが大切です。そこで、今年度から「はるしんベーシック」に取り組んでいます。「はるしんベーシック」とは、全校で目指したい授業に臨む上で守りたいルールやマナーを表にしたビンゴカードです。毎月最初の１週間を取組期間とし、金曜日に３ビンゴ以上になったら、校長の直筆サイン入りの「イイじゃんメダルカード」が学級に届きます。楽しみながら目標を決めて、目指す姿に迫っています。



直江津東中学校の取組

本年度、当校では「基礎・基本を大切にし、ともに学力向上を目指す姿」の育成を目標に教育活動を展開しています。

○基礎・基本を習得させるために

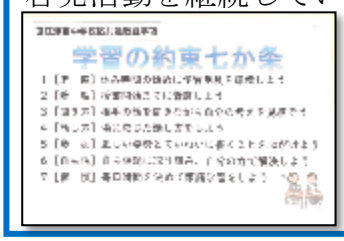
本年度は、学習の原点に立ち返り、応用的な活動の土台となる「基礎・基本の確実な習得」をキーワードに取り組んでいます。毎回の授業の初めに前時の振り返りの時間をとることで継続的な復習を行ったり、視覚的支援を充実させ学習内容の理解をしやすくするための工夫をしたり、「ここを覚える！」、「ここが大切！」といったような小見出しを付け、重要な部分をより意識させるような板書を行ったりするなど、教科の特性を生かしながら、基礎的・基本的な知識の確実な習得を目指しています。



○授業規律をより大切にさせるために

当校は、チャイムスタートをはじめ、休み時間と授業時間の切り替えに課題がありました。そこで、学年ごとに授業規律向上のための各種キャンペーンを行うことで、リーダーの声掛けに応えるなど学年全体で改善していこうとする雰囲気が高まるものの、キャンペーン後には、もとに戻ってしまうという現状があります。今後も生徒たちと課題を共有し、アイデアを出し合いながら粘り強く取り組んでいきます。

また、生徒会の学習委員会は、直江津東中学校区共通取組事項の「学習の約束七か条」の点検活動を行い、学級の実態に応じて、毎月、重点目標を定め、学級単位での授業規律に対する啓発活動を継続しています。





秋のあいさつ運動 ありがとうございました。

9月に実施した【秋のあいさつ運動】のアンケート結果です。下記の質問に56名の方々よりご回答をいただきました。沢山の方々のご協力ありがとうございました。

（町内会長・安全協会・防犯協会・民生児童委員・主任児童委員・PTA 会長の皆様よりアンケートにご協力いただきました。）

1　立哨中に出会った大人の方とあいさつを交わしましたか

ア　交わした	47
イ　交わしたり交わさなかったりした	7
ウ　交わさなかった	1
無回答	1

2　立哨中に児童生徒に自分の方からあいさつをしましたか

ア　自分から先にした	32
イ　自分からしたり相手が先にしたりした	20
ウ　相手が先にした	3
無回答	1

3　期間中家庭内であいさつをしましたか。

ア　自分から先にした	21
イ　自分からしたり相手が先にしたりした	29
ウ　相手が先にした	1
無回答	5

～いただいたアンケートの中から抜粋～

・小学生の集団登校では、高学年が低学年の児童の様子をよく見て登校している姿がとても良かった。

・シルバーウィーク明けで疲れているようだった。

・春のあいさつ運動時より明らかに大きなあいさつの声が返ってくると感じた。

・バス乗車時、運転手さんにあいさつをする子もいればしない子もいた。

・低学年の児童は元気にあいさつをしてくれる子が多い。高学年は恥ずかしいのかうつむき気味だったり声が小さかったりいろいろ。